

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2022 年 8 月 12 日作成 第 1.0 版

研究課題名	経口抗菌薬使用量削減を目的とした感染制御部の取り組みによる抗菌薬使用状況への影響の評価
研究の対象	2016 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までに、横浜市立大学附属市民総合医療センターに入院中もしくは外来において経口抗菌薬が処方された患者さんが対象となります。
研究の目的	薬剤耐性菌（AMR）による死亡者数の増加が危惧されています。厚生労働省より AMR 対策アクションプランが打ち出され、経口抗菌薬のうちセファロスポリン系、マクロライド系、キノロン系をそれぞれ 2013 年度比で使用量を 50%減らすことが成果指標として掲げられました。経口抗菌薬の使用量削減のため採用医薬品の整理や院内教育等の取り組みを行ってきました。本研究ではその取り組みを行った結果、経口抗菌薬の使用状況がどのように変化したか評価します。
研究の方法	診療録から情報を収集して、抗菌薬の使用量について検討します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2024 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 1) 背景情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症 2) バイタルサイン 3) 血液検査の結果：（血液学的検査：白血球数、好中球数） 4) 尿検査：蛋白、亜硝酸、白血球 5) 治療内容：投与薬剤、投与量、投与日数 6) 治療効果の判定結果 7) 合併症、副作用の有無とその内容 8) 各種培養結果および薬剤感受性（血液、尿、喀痰、組織、便） 9) 処方診療科
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との検体・情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、個人と識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部 小濱弥真斗
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。本研究で効果を検討する薬剤の製薬会社と本研究の研究者の間に、開示すべき利益相反はありません。また、本研究は研究費を用いることはありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部 小濱弥真斗
本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部（研究責任者・問い合わせ担当者）小濱 弥真斗 電話番号：045－261-5656（代表） FAX：045－253－5343	